

ののうち誠

vol.3

〒699-0108
松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX (0852) 52-3117



ホームページを開設しました
お気軽にケイタイからご覧いただけます

議会報告・後援会だより

E-mail: nonouchi@mable.ne.jp
HP: http://www.mable.ne.jp/~nonouchi

発行日: 2012.4.18

平成24年度が 始まりまじた



松江市議会2月定例会議会は109議案全てを可決し、3月26日に32日間の会期を閉じました。

2月定例会市議会は、東出雲町との合併後初となる新年度予算の審議決定が大きな議題でした。予算審議は、議長を除く全議員が加わる予算特別委員会で行います。そして、4つの常任委員会が分科会となり、それぞれの所管分の予算を審議します。予算は、親会計である一般会計と特別会計が13、企業会計が5です。

このうち、松江市の平成24年度の一般会計の予算総額は971億8,600万円。日ごろなじみのない大きな金額ですが、東出雲町の平成21年度の一般会計当初予算は55億5,400万円でしたので、おおよそ東出雲町の15倍だと思っただけであれば理解が早いと思います。ちなみに人口も

14倍強です。

4月に特例市となった松江市の平成24年度の予算は、「安心・安全なまちづくり」「定住・雇用対策の強化」「ポスト400年祭」「将来ビジョンの策定」を柱に編成されています。一方歳入(収入)をみると、市税収入は景気の持ち直しの鈍化によって減額となりましたが、地方交付税の増額などにより、必要な財源は確保されたとしています。

東出雲地域関連の予算をみると、東出雲中学校建設事業は最終年度を迎え、残された校庭造成などを実施します。また、市道高丸野呂線災害防除と、市道内馬高丸線(大型農道)・市道新町須田線(新町踏切付近)では舗装改良事業が2カ年の整備事業で始まり、下水道では平賀と大木地区内などの污水管敷設工事が行われ整備率100%に近づきます。上水道では本谷奥組地区の水源転換に基づく実施設計が始まります。

一般会計の自主財源(全体の40.2%)のうち、市税は全体の28.3%の274億9200万円。特に皆様からの税金が大切に、かつ市民のために有意義に使われなければなりません。平成24年度が始まりました。野々内は、皆様の代弁者として、予算執行のチェックや提案をしていきます。毎日どこかで議員活動をしていますので、見かけられたら、ぜひ声をかけてください。

平成24年度当初予算を議決 2月市議会

2月市議会は2月24日から3月26日までの会期で開催。平成24年度新年度予算の決定、補正予算では、地域振興基金積立金(10億円)や東出雲中学校整備事業(屋外教育環境整備)などが計上されました。条例改正では、特例市に移行することに伴うものや介護保険料を改正する介護保険条例などが提案され、全て全会一致で認められました。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

野々内は2月議会でも一般質問を行いました

合併によって私たちの身の回りは様々な変化がみられます。また、野々内にも沢山の皆様からの相談や質問をいただいています。その中の5点を松浦市長や松江市執行部にいただきました。(一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています)

一般質問を

行いました

Q1、尾道市との姉妹縁組

における連携と交流について



平成24年度の交流事業と、今後想定される事業は何かをお聞きします。特に、ものづくり振興への連携の考えはありますか。そして、今まで東出雲町が行っていた尾道市との交流事業はどうなりますか。

(A) 松浦市長：来年度の交流事業は、災害時の応援や平常時の情報交換の協議を始め、文化交流の活動支援を行い、幅広い分野での市民主体の交流連携を進めます。ものづくり振興では、経済界でも交流が始まっており、尾道の製造業は、松江に比べ勝っており、販路の新規開拓先、企業間連携先として非常に有望で、今後行政と経済界が一緒になって交流促進を図っていきます。

東出雲町が行っていた陣幕顕彰は、東出雲地域協議会での結果を踏まえて今後検討し、子供サッカー交流は、新年度は松江市で開催予定です。絵のまち尾道四季展移動展は、節目の年での開催を検討します。

Q2、地域振興と支所の体制について

1月に説明の支所の新体制への移行案は、東出雲地域は、数年の猶予があるものの、

各地域を平準的にとらえ、規模やサービスを均一化していくように見受けられます。支所機能と規模は、人口規模や人口構成、地域特性で決めるべきです。東出雲の平成17年国勢調査では、15歳未満の全人口に占める割合は17.77%。全国自治体40位で、子育て支援が特に必要であり、そのための職員数はどのように考えていますか。

(A) 安井政策部長：支所機能を存続しつつ、既存の公民館機能と複合させて、(仮称)コミュニティセンターを設置することを検討中です。そこでの支所機能は、市民生活グループと、地域グループを設置する方向で検討中です。また、支所の職員数は、各地域の業務量に応じて配置を考えます。

計画では建設管理課が平成24年度末廃止で、地域の安心・安全から遠のきます。また子育て支援センターは、正規職員を配置すべきです。

(A) 安井政策部長：支所の防災対応は、公民館が担う機能と、行政で担う機能を組み合わせていく形で検討しています。

(A) 渡部健康福祉部長：全体の9カ所と東出雲との横断的な協力体制も含めて、子育て支援を推進します。

Q3、子育て支援について

地域のファミリーサポート事業は、本所所管と聞きましたが、申し込みだけでも地域の子育て支援センターでできませんか。

(A) 渡部健康福祉部長：入会の申込手続は、市内9カ所の子育て支援センターで受

け付けの検討をします。

乳幼児の健診会場は、市保健福祉総合センターのみですが、健診は親の交流などの要素が含まれています。地元で健診の一部が実施できませんか。

(A) 渡部健康福祉部長：スタッフ確保のため集団健診は今後も統一実施していきます。親の交流は、各地区での交流事業を利用してください。

東出雲地域では保育所待機児童は、今まで一人も出ていません。待機児童の状況と、その解消をどのように考えていますか。

(A) 渡部健康福祉部長：市の2月1日現在の待機児童数は230人、そのうち東出雲では15人。今後の見通しは、4月に定員60人の認可保育所が竹矢に開園予定で、また合併で



▲母親の、皆さんの切実な思いや声を市政に届け動きませす

勤務地に近い市の保育所が利用可能になり、待機児童を解消できると考えています。市では、平成21年度から23年度まで民間保育所を支援し870人の定員増を、24年度でも150人程度の定員増を図ります。

Q4、市内小中学校の 情報教育について

東出雲町時代では、各教員が1台のパソコンでネットやメールができる環境でした。本市で導入される学校用と校務用に分ける学校ネットワークシステムとは、どのようなシステムですか。かぎつきのUSBキーで校務とネットとの兼用もできる代替システムの採用の考えはありますか。また、学校におけるセキュリティポリシーについて聞きます。

(A) 松浦副教育長：ケーブルテレビ網の情報基盤で、市の方針に基づき、学校ネットワークシステムの整備を進めています。学校ではインターネットへの接続網も別に構築します。USBキーの件は、情報漏えい等のリスクを最小限に抑えるため、校務用とネット用を別々にパソコン配備する考えです。セキュリティポリシーでは、市立小・中学校校内LANシステム運用管理規程で運用しています。今後、学校ネットワークシステムの移行時期に合わせ、新たに運用管理規定等を定めます。

通信網はメタル線ですが、Ruby言語を薦める市では光回線が最適です。また、利点が多いクラウドシステムの導入の考えはありませんか。パソコンの共同使用は非常に不便であり、改善しませんか。可能な限り安全策をとりつつ便利なシステムを導入してください。

(A) 松浦副教育長：通信回線は、扱

容量等で十分今のシステムでも対応できると考えています。また、回線共有の件は、一番安全なのはネットと切り離すことで、今のシステムで対応していきます。

Q5、都市計画道路 揖屋馬潟線について。

錦新町から揖屋北側を通り平賀の国道9号線に至る延長2,300メートルの路線が完成すると、産業振興や原発避難路にも活用できます。この道路は中灘を



境に、西は県道、東は市道との整備計画ですが、県道部分は実施設計中であり、交通混乱を避けるためにも市道部分も足並みをそろえて、一日も早い着工が望まれます。

(A) 石倉建設部長：県事業は、現在現地調査を行い、実施設計中です。平成24年度には事業認可を受け、平成20年代の完成を目指しています。残りの区間は、事業の進捗状況、将来の土地利用、交通需要を調査の上、検討したいと考えています。

この道路は通り抜けて初めて効果が出る道路です。早期に着工してください。

※一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています
※フェイスブックもやっています

6月議会予定

- 6月13日(水)本会議
- 18日(月)一般質問
- 19日(火)一般質問
- 20日(水)一般質問・議案質疑・委員会付託
- 21日(木)総務委員会
- 22日(金)教育民生委員会
- 25日(月)経済委員会
- 25日(月)26日(火)建設環境委員会
- 29日(金)本会議

活動報告 最近の活動から

震災がれきの受け入れを市議会で決議

松江市議会は3月26日、議員提出議案として「東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れに関する決議」と「東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理に関する意見書」を議決しました。決議は、市に対し放射線量の測定など十分な体制のもとで情報を開示し、安全性が検証された震災がれきの受け入れを表明することを要請するものです。

意見書は国に対して、災害廃棄物の安全性について明確な基準を示すことをはじめ、国民の理解を得る為の丁寧な説明と積極的な情報提供を行うことなどの5項目を早急に取りくむよう要望するものです。

震災がれきの受け入れには慎重な意見もありますが、「お互い様」の気持ちで準備しておくことは必要なことだと思います。



懸念の大きいTPP

3月15日にくにびきメッセで「TPP説明会」が行われました。島根県の主催で呼びかけに応じた国の担当者がTPPの理解を得るための説明を行うというものでした。

TPP(環太平洋経済連携協定)は、農業の貿易完全自由化と受けとられていますが、金融・保険、医療、介護、食品安全基準など規制緩和、労働市場の開放、地方自治体の公共事業の入札など21項目の分野も含まれています。一度締結をすれば後戻りが出来ないのも、その影響が分かってくるに従って、TPPに反対する団体が増えてきています。島根県でも農林水産関係団体はもちろん反対ですが、市長会や町村会、商工会連合会、県医師会、県歯科医師会、薬剤師会、調理師会、建設業協会なども反対を表明しています。

説明会の質疑応答では、全てTPP交渉参加に慎重の意見ばかりでした。私も懸念の大きい事柄であり、注目していこうと思っています。皆さんも関心を持ってください。



▲稲の種まき作業(カサーレ出雲郷)

尾道市と松江市は姉妹都市に

東出雲町が平成6年から産業文化友好交流都市として交流を続けてきた尾道市と、2月5日に松江市は姉妹都市となりました。平成6年5月30日、東出雲町は尾道市と「産業文化友好交流都市」の盟約を行ったのは、平成3年の「第12代横綱陣幕久五郎顕彰事業」で尾道市との縁が注目を浴びたのが発端です。そして機運が高まり、平成4年8月に当時の助役と企画財政課長、私の3人が尾道市役所を訪ね、交流を申し入れ。その後同年11月には丸山尾道市助役らが来町、その前後から住民レベルや産業界などの交流も始まりました。平成5年3月には大阪・大丸梅田店で開催の「陣幕の里・東出雲町物産展」には尾道市からも協賛出店、ホテルで開いた交流会には、尾道市長らも出席し親密なパーティとなりました。その後何回も尾道を訪問し、沢山の方々と交流ができました。子供相撲、子供サッカー交流、絵のまち尾道四季展の移動展の開催、ざいごフェスでの尾道ラーメンの出店、ミス尾道の招請、湯水の尾道に水をトラックで届けたなどなど思い出は尽きません。



▲尾道市議会議長、副議長を表敬訪問

そして、4月5日、市議会の会派を超えた学習グループで尾道市を訪問。市役所に市長らを表敬訪問し、尾道市内を視察しました。今回の姉妹縁組も沢山の成果を挙げてほしいものです。

ののうち誠 後援会です

ののうち誠講演会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。

この度後援会だよりvol.3を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

**後援会にご加入いただき
一緒にまちづくりをしていきましょう。**

後援会事務局
松江市東出雲町出雲郷1670

ALL FOR HIGASHIIZUMO

プロフィール

昭和25年11月26日生まれ、61歳。
母と2人暮らし、子ども2人(結婚し独立)
住所/松江市東出雲町出雲郷1670
電話/0852-52-3117(FAX兼用)
【学歴】
昭和44年3月/島根県立松江農林高等学校卒業
【職歴】
平成11年4月1日/東出雲町企画財政課長
平成13年4月1日/東出雲町保健福祉課長
平成17年7月11日/東出雲町教育委員会教育次長
平成21年4月1日/東出雲町総務課長
平成22年4月1日/東出雲町参事
平成23年8月/市議会初当選
【活動歴】
出雲郷公民館主事(11年間)、出雲郷公民館運営委員、
体育協会出雲郷支部事務局、消防団第三分団部長、
出雲郷小学校PTA会長(3年間)、町PTA連絡協議会会長、
松江市農業委員